

家畜保健衛生だより

令和元年度 第15号

(豚コレラ) 至急、対応を!

関東及び隣接県における豚コレラの発生状況は、次のとおりです。

- 埼玉県⇒養豚農場・野生イノシシ(死亡・捕獲)での豚コレラ発生又は確認
- 群馬県⇒野生イノシシ(死亡・捕獲)での豚コレラ確認
- 静岡県⇒野生イノシシ(死亡)での豚コレラ確認

これは、神奈川県内の養豚農場・野生イノシシで、豚コレラがいつ発生しても・確認されてもおかしくない状況です。

そこで、農場内に豚コレラウイルスを侵入させないために、飼養衛生管理基準の中でも、次の項目については、確認のうえ、不十分であれば、至急対応してください。

- **農場内に関係者以外が入らないような対策(誰が見てもわかるように)**
⇒ 看板、門扉、チェーン、コーン&コーンバー、消石灰帯など
- **農場に出入りする車両の消毒(農場外にも行き来する自農場の車両も含む)**
- **農場専用の作業着・長靴、農場出入口の踏込消毒槽設置だけでなく、豚舎ごとに専用長靴、踏込消毒槽(できれば豚舎ごとに専用作業着)**
- **農場に出入りする際の手指の消毒**
- **豚の豚舎間の移動は、消毒を実施したバケットを利用するか、通路を消毒してから**
- **豚舎を出入りする運搬用台車(飼料・離乳豚)の車輪消毒**
- **農場や豚舎内に野生動物が近づかない、侵入させないような対策**
⇒ ★豚舎周囲に定期的な消石灰散布
・防護柵等の設置(特に周囲に野生イノシシが出没する場合)
・豚舎への防鳥ネットの設置(すき間や破損部分の修繕も)
・豚舎周囲の整理整頓や除草(不用物の処分、見通しを良くする)

消石灰は、待ち受け消毒として活用するとよいです(農場入口等に消石灰を散布しておき、時間をかけて糞等の有機物の中に含まれた病原体を不活化する等)。雨にぬれたり、長時間野外に放置したりするとアルカリではなくなるので、頻回散布が必要です。また、忌避効果も期待できると考えます。

見通しを良くし、隠れる場所を作らないことが、野生動物にとってストレスとなります。

神奈川県湘南家畜保健衛生所

〒259-1215 平塚市寺田縄 345

TEL 0463-58-0152 FAX 0463-58-5679